

学校運営協議会だより

渋谷区立富谷小学校
学校運営協議会通信

令和7年度 第4回学校運営協議会

1 開会の言葉

2 校長挨拶

- ・本日、道徳授業地区公開講座を参観していただき、ありがとうございました。この後の協議で、参観されたご感想やご意見をいただきたい。
- ・本校教職員向けに発行している「Well-being」を配布している。6月はふれあい月間（年3回：6月、11月、2月）であり、いじめに関わる授業を全学級で実施した。授業での子供たちの様子や意見について、先生たちの所感をまとめたものを載せているので、お目通しいただきたい。
- ・道徳の授業については、陥りやすい事例として次の3点がある。①主題やねらいの設定が不十分な話合い、②読み物教材の登場人物の心情理解のみ、③望ましいと分かっていることを言ったり書いたりするだけの授業。授業改善に努め、①問題意識をもち、自分事として考える、②対話的に学び、物事を多面的に捉える ことができるようになり、深い学びにつなげていきたい。

3 協議

【道徳授業地区公開について】

島田久仁彦氏

- ・1年生と5年生を参観した。より現実にありそうな話で、自分事として捉えて授業が進められていた。
- ・関西での道徳の授業では部落の話が多かった。現在は一般的な子供たち自身の問題になる内容で構成されていて良かった。

仲西まり子氏

- ・1年生と6年生を参観した。6年生では、司会と書記が決まっていて、子供たちの意見を集約して授業を進めていたことに驚いた。教室環境も涼しく快適でよかった。題材が同じであっても先生によって授業の進め方が違っていて、それぞれのよさが出ていた。電子黒板で意見を共有したりワークシートを使ったりと、そのよさが生かされていた。内容が情報モラルの問題で、現在の子供たちに通じていることもあり、活発に意見が出されていた。授業のスタイルを通して、道徳以外の教科にも通用すると感じた。

吉川光子氏

- ・道徳の授業は、どこに視点を置いて観るかが難しい。本日いただいた資料は、児童の主体的で対話的で深い学びに向かう授業のあり方や見方が読み取れ、とても勉強になる。また、1年生の廊下掲示を観たときに、色彩がとてもきれいで、作品から子供たちが学校を楽しんでいる様子が伺える。

小池博征氏

- ・5年生、6年生を参観した。シブヤ未来科では、5年生は米作りの授業を行っている。6年生は1年生ハッピープロジェクトを行っている。今後はそこから地域の課題に向かっていく活動ができたらよいと道徳の授業から感じた。
- ・先日、6年生のシブヤ未来科の授業に入り、ブレーンストーミングを行った。コロナ禍の中に学校生活が始まった子供たちは、本校のみでなく他校もモラルを押し付けられている癖がついているように感じている。やっては駄目と教えられたから、という理由で生きていくのはよくない。子供たちの話を否定せずに受け入れ、最後に、なぜ駄目なのかについて考え、伝えるようにしている。過去の道徳は世の中で駄目だといわれていることを学ぶ授業であったが、本日の授業は、子供たちがなぜ駄目なのかを考え、

多様な意見を出していくところが非常に面白かった。今日の道徳の授業は、国語や探究的な学びにつながることも素晴らしい。

- ・5年生の授業では、先生方の子どもを導くファシリテーターとして能力を感じた。道徳の授業で学んだこと考えたことが今後のシブヤ未来科につながっていく。

宍戸敬史氏

- ・シニアの考え方について、例えばバスに乗っていてお年寄りに席を譲ることができる小学生と、譲ることができない小学生とがいる。外国の方は席を必要としている人がいると自然に席を立たれる方が多い。幼いころからの教育が身に付いていると実感している。小学生に道徳の授業を通して、そういったことを伝えることができることは非常に良いと感じている。幼いころに体の不自由な方と接する機会をつくるなど、そういった経験から感じられることがある。今後、そういった機会を設定していくと良い。
- ・最近、富ヶ谷地域から出られる方が増えてきている。新しい方も入ってきており、なかなか地域活動に参加されていない方が多くなっている。保護者の皆さんにも可能な限り、こういった方との交流をもつて地域とつながっていただきたいと感じている。保護者の皆さん同志も地域行事、学校行事等をとおしてつながりを深めていただきたい。

【ワックワックとみがやについて】

- ・8月29日（金）午後/夜間、30日（土）午前に開催する。
- ・スポーツ鬼ごっこは実施の了解をいただいた。親子で参加できたらよいが、平日なので難しいかもしれない。
- ・科学教室では、グライダーづくりを行う。可能であれば児童か同窓会の方に手伝っていただきたい。15分程度で完成するので、テーブルごとにリーダーをおいて進行したい。（お手伝いについては Hi アプリで募集をかける）
- ・夜の学校探検では、体育館での待ち時間に何をするかが課題であった。95周年を記念したフラッグづくりを考えている。長い布を用意し、児童が自由に描けるようにしたい。
- ・絵の具遊びは9時～10時に実施する。プレイルームか昇降口での実施を考えている。
- ・ボッチャは、9月に大会に出場するため特別支援学級の児童と練習している。今年度はボッチャへの注目も高くなっていることから、参加者が多くなるのではないかと期待している。9時～11時半の実施を予定している。
- ・水遊びは2000個の水風船を使用する。10時～11時で実施し、片付けを11時半までとする。
- ・本部は校長室とし、必ず誰かが在室するようにする。
- ・地域と子供たち、保護者同士の関係づくりをしていきたいというテーマがある。そして、夏休み明けに子供たちがスムーズに学校に戻れるようにということも大切にしたい。「とみだち」というキーワードを打ち出し、つながりを大切にしていきたい。
- ・保護者、地域に向けた打ち出しは来週中に動き出していく。

【その他】

- ・代々木もちつき唄は、江戸時代から伝承されている。結婚式などのお祝い事で唄われていた。代々木八幡宮では、神社の餅つきの時に唄うとよいのではないかということから昭和から唄われている。来年の餅つきは令和8年2月1日（日）の開催となるので、子供たちの参加は難しいかと思うが、地域に伝わる唄なので、95周年行事や100周年に向けて唄い継いでいきたい。

4 閉会の言葉

【次回の学校運営協議会】
第5回 令和7年9月18日（木）
時間：16:00～17:00
場所：2階 図書室